



学校だより

# 志高く

発行 熊谷市立熊谷東中学校  
電話 048(521)0066  
FAX 048(521)8429  
令和5年7月4日  
第5号

正しい判断力とたくましい実践力を  
もった熊谷東中生を育む学校

## 吟子のごとく～郷土の偉人の志～

校長 清水利浩

熊谷出身の荻野吟子さんが、公許女医第一号となったのは、1885（明治18）年のことです。その1年前（1884年）に行われた医術開業試験は、受験者数が800名を越え、荻野吟子さんを含めて5人の女性が受験しました。

本校の学校教育目標は「志高く」ですが、吟子さんの志は半端なく高いものでした。このことを知る資料があります。吟子さん



が、この試験に臨むにあたり、その心境と決意を『女学雑誌』という書物に記しています。

「試験を目の前にして私はとても緊張した。度重なる請願の却下と落胆の大きさにより、受験の準備に力を入れることができなかつた。しかし、めぐってきたこの機会に自分がもし落第するならば、幾度にもわたる請願で驚かせてきた内務省に対して、そして、私につづく後進姉妹にも大きな影響を与えてしまうだろう。今後、女子教育が盛んになるのか、日本の女子が元気を得て活躍できるかは、私が合格するかどうにかかっている。」

吟子さんは、自らの試験の合否が、日本の全女性に及ぼすであろう影響を見据えて深い決意を記しています。下線を引いた「めぐってきたこの機会に自分がもし落第するならば」以下の言葉からわかるように、吟子さんは自分自身を日本の女性の先覚者と自覚して、試験に臨みました。そして、吟子さんは、女性としてただ一人、この試験に合格したのです。

郷土熊谷の先人の志や学びに対する思いは、現在の私たちにも大いに参考になるものであると思います。今回取り上げた荻野吟子さんに関する書籍は、熊谷東中学校の図書室にも配架されています。是非、手にとってください。

<参考書籍> 『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子-その歩みと出会い』 令和5年 熊谷市・熊谷市教育委員会 P127

『マンガで紹介 荻野吟子～女医のパイオニアは埼玉出身～』 令和3年 埼玉県県民生活部男女共同参画課



がっちゅう  
R5 東中の歩み



学校総合体育大会市予選会（地区大会）特集



どの部活動も最後まで全力でプレーしていました。互いに励まし合う姿に感動しました。  
選手も応援も自分にできることを精一杯やっていたことに意味があります。

主な大会成績の紹介です。（下線は県大会出場）

サッカー部 第3位 ラグビー部 第2位 男子バレーボール部 第1位

柔道 男子団体戦 第3位 個人女子 第3位、第5位

個人男子 第1位、第3位、第3位

陸上 男子共通 1500m 第1位 男子共通 3000m 第3位、第7位

男子共通 110mH 第3位 男子2年 100m 第2位

男子1年 100m 第6位 女子共通砲丸投 第3位

卓球 個人戦男子ダブルス 第1位、第2位、第3位

水泳 女子 50m自由形 第3位 女子 100m自由形 第2位

女子 100m平泳ぎ 第2位

